

10月1日に  
販売開始します！

増淵昌利著

# 建築基準法と安心安全

～違反建築ゼロ、その前に～

阪神・淡路大震災の犠牲者 6434 人の 77% は建築の不安全が元凶だ。①違反建築、②耐震改修の遅れ、③戸建て住宅の管理の失敗による。日本は①災害から国民を守る為に制定された建築基準法の志に帰り「完了検査率 100% = 違反建築ゼロ」原理を発見し、②地震による死者ゼロを掲げる高知県の耐震改修システムが 100% に迫る。残るは③戸建て住宅の管理を支援する仕組みづくりだ。一方、法の安全基準は最低限だから大地震で崩壊しないが震災後に元の暮らしに戻るのは容易でなく、火災から命を守りきれないことがあることは知られていない。100% の意味を考え、「違反建築ゼロ」の前に進む時が来た。本書は、法の制定に先だつた描かれた「学問技術の恩恵を全ての人に行き渡らせて命を守る」という夢を追い、これからの安心安全を語る。

<もくじ>

はじめに

第一章 建築基準法に基づく完了検査率は 100% にできる  
阪神・淡路大震災が残した課題、「完了検査率は 100% にできるという原理」の発見、実質完了検査率の追跡調査、完了検査済証に市場価値が発生

第二章 住宅と建築の安全をリファイン

狭い道路をなくすが歴史は残せる、既存の重大違反と向き合う、老朽危険家屋の解消、欠陥住宅の解決支援

第三章 違反建築ゼロ、その前に

建築基準法が求める最低基準の意味と、その科学的根拠をつくる時の安全基準を守る法律である、建築基準法の「ヨコ」で耐震化を進める高知県、住宅性能表示住宅と益城町

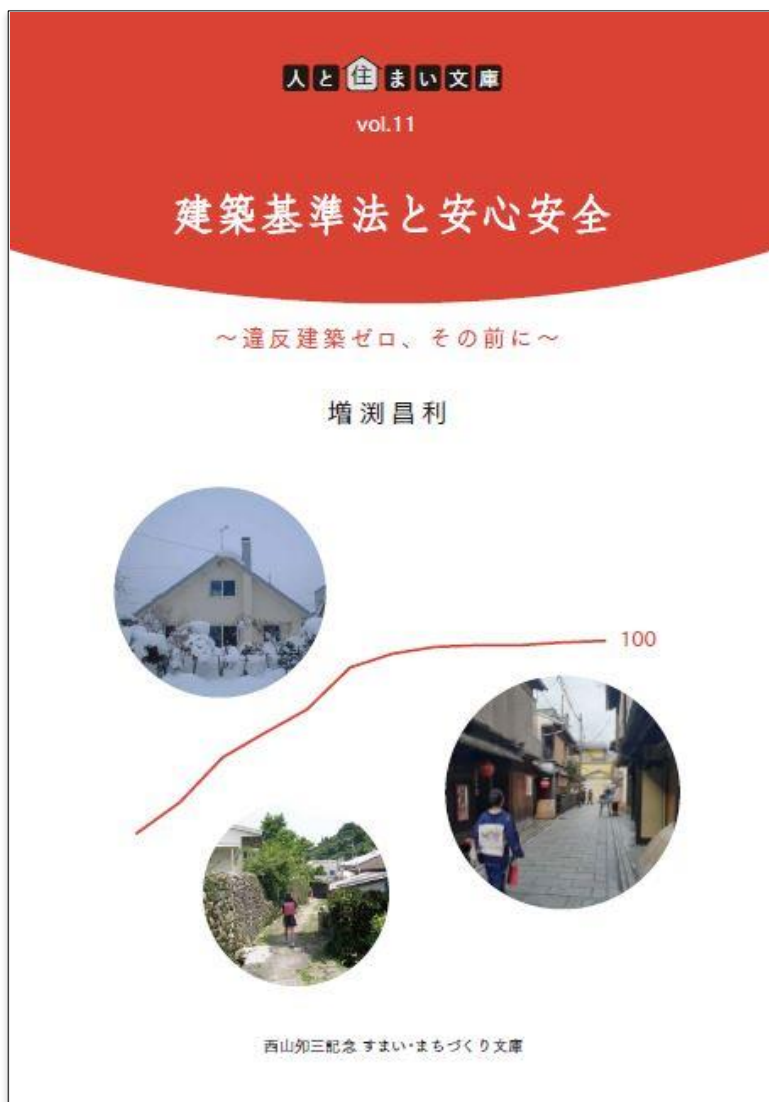
第四章 住宅研究と建築基準法の接点

庶民住宅と建築行政の接点、民間住宅の安全性能の技術的制御手段、国の住宅政策における技術的制御手段、戸建て管理を建築基準法で支援する

おわりに

## 購入ご希望の皆様

当シリーズは「地方・小出版流通センター」に販売業務を委託することとなりました。できましたら、このチラシの情報により最寄の書店でご注文ください。その際、書名・文庫名とともに「地方・小出版流通センター扱いです」と書店員の方に教えてください。各ネット書店でも扱っている場合があります。お急ぎの方は、地方・小出版流通センター HP「ご注文方法」や、従来通り当文庫 HP「出版物案内」に沿って、どちらからもご注文もいただけます。



ISBN 978-4-909395-10-8 C0052 ¥1000E  
定価 1,100 円 (本体 1,000 円 + 税 10%)  
地方・小出版流通センター取扱品